



飛躍の年！

令和7年度がスタートしました。321名の子供たちと37名の職員が一丸となり、歴史ある大明小学校を全員にとって、安全で安心して学べる魅力ある学校を作っていきます。私は大明小学校で2年目となりますが、昨年度は子供たちの大きな成長と、学校としての成長を感じた1年でした。今年度も、昨年度以上に大きな成長を感じられるような学校にしていきたいと思っています。

さて、昨日51名の新生が入学しました。入学式を終え一安心しているのではないのでしょうか。在校生、職員一同新生の入学をお祝い申し上げます。大きな希望と期待を胸に入学した51名の気持ちをしっかりと受け止め、全職員が全力を挙げて学校教育を進めて参ります。1年生は何にでも興味関心を示し、多くのことを吸収するときです。また、私たち大人と違い既成概念にとらわれず自由な発想で物事を感じることができます。いつまでも好奇心旺盛な自由な気持ちを持ち続けてほしいですね。しかし、反面不安もあるかもしれません。「友達ができるかなあ」「勉強についていけるかなあ」等、その不安は多岐にわたっていると思います。一つ一つを子供たちと一緒に考え、少しでも早く学校生活に慣れ、日々の生活が楽しいものになるようにしていきます。御家庭においても不安を少しでも取り除いていただけるよう、言葉かけをお願いいたします。2年生以上も学年も上がり、新たなスタートとなります。何事にも挑戦する年にしてほしいですね。今だからできること、今でなければできないことも多くあります。二度と戻ることのできないこの時期に多くのことに挑戦し、飛躍の年にしてほしいと思います。

共に考え、共に成長

現在南アルプス市ではすべての中学校区において、小中一貫校として小中連携を行っています。甲西地区においても令和5年度より小中一貫校としてスタートし、様々な形で小中連携の取り組みを行っています。本校においては小学校卒業を目指すわけですが、さらにその3年後の中学校卒業まで見据えた教育を行っています。中一ギャップの解消はもちろんのことですが、義務教育9年間の大きな流れを大切にしています。確かに小学校と中学校ではいくつもの違いや、発達段階も違います。例えば制服の着用など、元々の文化として違うこともあります。しかし、学校教育において目指すべき方向に違いはありません。小学校で許されないことは中学校でも許されるわけではありません。また、その逆も同じです。本校においても学校のきまりがあります。それは、子供たちが安心して安全に学校生活を送るためのきまりです。今年度はよりよい学校生活を願って、昨年度末に児童会本部の子供たちもそのきまりづくりに参画しました。最終的には児童総会を経て職員会議にて確認をしますが、子供たちの声を反映することで、より身近なものとなり一人一人が意識できる内容を目指しています。もちろん、全てを文言で規定をしている訳ではありません。私たち職員も共通理解をして支援にあたりますが、各御家庭においてもしっかりとその趣旨を御理解いただき、御協力をお願いします。